



KDUi

KOBE DESIGN UNIVERSITY INFORMATION

CONTENTS

巻頭特集	P2
学長インタビュー！世代を越えた出会いを創出する『学生会館』 イベントを陰で支える『学生フォーラム執行部』 総合的な表現を楽しむ『特殊造形部』	
就職活動について	P4
キャリアセンター室から就職活動について 卒業生の声／内定者インタビュー	
お知らせ	P6
学費負担者の方へ／学費延納・学費クレジット／2016年度前期成績通知について／ 保健室（学生相談室）／学生フォーラム執行部	
教育後援会通信	P7
教育後援会からのお知らせ／H27教育後援会収支報告／H28教育後援会予算／ 大学祭での模擬店出店／教育後援会奨学金について	
行事予定	P8

『KDUi（Kobe Design University Information）』とは、本学発信の保護者向け情報誌です。学生の活躍や学内行事の情報、キャリアサポートに関する情報などを掲載しておりますので、ぜひお子様とのコミュニケーションツールとしてもご活用ください。また、今後も内容を充実させていく予定ですので、掲載を希望する情報等がございましたら、ご意見をお聞かせください。

【連絡先】 Tel：078-794-5024 Mail：kdu-i@kobe-du.ac.jp

世代を越えた出会いを創出



学生会館を新設するに至った経緯について

学生生活の支援を目指した学生会館建設は、1989年の開学以来の念願でした。神戸芸術工科大学20周年記念事業の一つとして提案され、施設内容の検討、建設資金の準備、学生の意向調査、建設位置の決定、建築基本構想の提案、実施計画の検討など8年の時をかけて進めてきました。キャンパスで多くの時間を過ごす学生たちにとって勉学の時間に加えて仲間と共に過ごす時間と空間は大切です。そこには多くの出会いがあります。未来を担う若者たちが、自らを見つめ、芸術工学の新しい挑戦課題を発見し、創造活動や社会活動を実践する行動を起こすために、青春時代だからこそ仲間と得られる体験を支援する環境が学生会館なのです。

設計コンセプトとその表現について

30年前に構想されたデザイン教育の理念とキャンパスの空間構成の理念を引き継いで学生会館は建設されています。1989年の開学時の5つの空間構成の理念は、次のようにまとめられています。1. 地形の改变を最小限に抑え、敷地内の既存の緑を残し、東西の林を保全しながら北の学園都市の中心部と西区の田園風景に開く。2. 傾斜地形を生かし教育や研究の異質な機能を縦に貫き結び、水平な道は各学科の同質な機能をつなぐ。3. 一般教育と専門教育をつなぐ中央広場と2本のコロネードを生かし、開放的で自由な雰囲気のある場とし、学科・学生間の交流、くつろぎ、野外作品展示などに活用する。4. 将来の学科棟の量的増設の余地を東西に残し、大学院の設置やより高度な設備などの質的増設には南側上段レベルを活用する。5. 建築施設、屋外施設、庭園、標識などのデザインはまだ完成されていない。今後、学生・教職員の自らの手によって作り上げ洗練していくものとする。

以上5つのキャンパスの空間構成の理念を基本とし、学生会館の建設敷地は学科棟群の西側の敷地が選択され、中央広場と扇型広場の接点に入り口を設けました。1階にクラブ・サークル室と更衣・シャワー室、トイレ、倉庫。2階にスチューデントラウンジ、学生フォーラムや同窓会組織、父母の教育後援会活動スペース。3階には学生マルチスペースを含むヘルスケアセンター（保健室）を設けました。上下はエレベーターで繋ぐと共に南側上段の体育館や野球グラウンド、テニスコートへブリッジによるアクセスを可能としました。中央広場と扇型広場の接点に作られた階段



学長
齊木 崇人

1948年広島県生まれ。広島工業大学卒業、工学博士（東京大学）。筑波大学専任講師、スイス連邦工科大学客員研究員、ウエストミンスター大学客員教授、神戸芸術工科大学大学院芸術工学専攻主任教授、同副学長を経て、2008年4月から現職。専門は環境デザイン、都市田園計画、建築デザイン。

を登ると、開放されたキャンパスの全体像を一望する事ができます。東と西の端に林を見る事ができ北側には学園都市、その向こうの西区の田園には播磨風土記の時代より知られている二つの小山、雄ッコ山、雌ッコ山や、北区の丹生山系を望む事ができます。特に、西側の扇型広場を囲む斜面には植樹した桜が大きく育ち、4月には絶好のお花見広場に変身します。加えて西側に沈む真っ赤な夕日は学生会館を包み、古代のいろ「あかし」を想像させます。

建築物としての魅力／技術について

キャンパスの空間構成の理念に従い既存空間に融合した建築を目指しました。既存の建築群と同じ素材と色を選択し、コンクリートの打ち放し仕上げとし、その構造は壁と柱を一体化したT字型の壁柱を配置しています。結果として外観や内部空間に柱の構造が露出せず軽快な建築構造を生み出しています。屋根は鉄骨構造により軽快なボールド構造とし、柔らかな半円の屋根が階段の上に人々を迎えるように突き出しています。3階と南側の上段敷地は軽快な鉄骨構造のブリッジで結ばれ緊急時の移動や作品の搬出入を容易にしています。中央広場と扇型広場の地盤面の高さの差を生かして階段の踊り場をデザインし、それぞれの踊り場はキャンパスの風景を楽しむ視点を提供しています。特に階段の踊り場から見る扇型広場、楠と図書館と中央広場のコロネードの風景は一見の価値があります。一方、建物の窓は額縁の役割を持ち内部から見る風景は、外部空間と内部空間をつないでいます。南側のテラスには2階のスチューデントラウンジから直接出入りでき、突き出し型の日よけが設置されて半戸外の空間を提供し内部と外部を連続させて活用できる空間を提供しています。インテリア空間を作る家具や照明機器の配置と日よけカーテンは、それぞれの活動に適した機能を重視して選択しています。



体育館へと繋がるブリッジ

学生会館の役割／目的について

学生会館は大学の多様な機能を融合させる役割を持ち、世代を超えた出会いを生み出します。その機能は学生たちの課外活動に拠点としてクラブやサークル活動の場が1階に提供されます。ついで2階には学生フォーラム、同窓会組織KDU-Net、父母の教育後援会の活動スペースが提供されます。3階は学生と教職員の健康を支援するヘルスケアセンターが設置され、保健室、カウンセリングルーム、リラクゼーションルーム、マルチスペースが提供され、キャンパスの中で風景と環境を楽しむ新しい拠点となります。この度、卒業生やご父母、教職員、支援企業からの建設資金の援助を得て、開学以来28年間要望されてきた学生たちのための拠点「学生会館」が誕生したことを皆さんとともに祝福し、これからの活用を期待したいと思います。



保健室

学生フォーラム執行部の「いま」 上野和輝会長インタビュー

Q1. 主にどのような活動をしていますか？

A1. 学生フォーラム執行部は、クラブ・サークルの統括や10月に行われる芸工祭の企画・運営など、1年を通して積極的に活動を行っている団体です。日頃から各クラブ・サークルが充実した活動ができるよう支援を行うとともに、毎年2月にはクラブ・サークル代表者を対象とした1泊2日のリーダースキャンプも行っています。また、大学祭の運営にあたっては、学園都市駅周辺の大学とも交流を行い、互いに刺激を受けています。



Q2. 今後の活動予定は？

A2. 10月15日（土）～10月16日（日）に芸工祭を開催します。年に一度、芸工大に多くの方が訪れるイベントです。そして芸生が日頃学んできた成果を披露する場でもあります。私たちが1年かけ、全力で準備してきた芸工祭です。今年度は、来場者の方々により楽しんでいただけるような企画をたくさん用意していますので、ぜひお越しください。



特殊造形部の「いま」 下山龍太郎部長インタビュー



Q1. 主にどのような活動をしていますか？

A1. 平日は、ヒーローショーで使用するコスチュームやマスク、小道具等を制作し、制作した作品を使った動画の撮影や編集を行っています。また、ヒーローショーのご依頼があった場合は、脚本の制作、ショーで使用する音源の編集、そしてアクションや演技の練習を放課後に行っています。



大学のイベントを陰で支える立役者たち。
組織力で課題を乗り越える達成感を味わっています。



Q3. 活動を通じて成長したことは？

A3. 学生フォーラム執行部は、一般のクラブ・サークルとは違う、特殊な団体です。はっきり言うと、つらいことの方が多いです。ですが、芸工祭や一つの行事が終わるたびに、何事にも代えられないような達成感を味わうことができます。また、普段の大学生活では学ぶことのできない、社会の厳しさを体感することもできました。活動を通じて、PCソフトの技術向上はもちろん、人や社会との関わり方についても学ぶことができ、日々成長を実感しています。また、学生フォーラム執行部のメンバーに加わり、芸工大での過ごし方は大きく変わりました。授業を受けて、そのまままっすぐ帰宅していたのが、部屋に行き、他のメンバーと話したり、楽しみながら作業をするようになりました。芸工祭直前になると、夜遅くまで活動することも多くあります。一つの目標に向かって全員が一心となって努力する機会は、大学に入ると滅多にありませんが、学生フォーラム執行部ではこの機会がたくさんあります。つらいときもありますが、仲間がいるから頑張ることができるのです。

デザインから立体に、脚本作成から演技、撮影から編集まで。
総合的な表現が求められるからこそ楽しめる。

Q2. 今後の活動予定は？



A2. 10月に開催される芸工祭のステージで、約1時間のヒーローショーを行います。また、日頃から地域のイベントなどで積極的に活動を行っており、芸工祭後もさまざまなイベントに出演する予定です。たくさんの方々私たちのショーをご覧いただき、楽しんでいただければと思います。

Q3. 活動を通じて成長したことは？

A3. 自分がデザインしたキャラクターや小道具がヒーローショーで活躍すること、また、小さな頃から憧れていたヒーローや怪人に自分自身がなれるということは、特殊造形部ならではの楽しみです。また、デザインしたものを立体にするスキルを磨くことができました。授業ではあまり扱わない素材を部活動で使用しているため、他の学生とは違う考えで課題作品を制作できるようになったと思います。その他にも、特殊造形部はチームで活動する団体であるため、部員をまとめる力や判断力、率先して行動を起こす力がつきました。



就職活動について

2018年度卒（現3年生）を対象とした採用スケジュールは3年生の3月から採用情報が解禁、筆記や面接などの選考が4年生の6月からとなっています（中には早めに開始する企業もあります）。希望の進路を実現する為に『早めの準備』が非常に大事です。3年生の3月

【3年生のみなさんへ】

9月以降「業界研究・企業研究」「自己分析・面接練習」「インターンシップへの参加」「ポートフォリオ作成」他、3月までに取り組んでおいた方が良いことが色々あります。

までの準備を「する」「しない」では大きな差が出ます。特に3年生のみなさんは就職活動が目前に迫っています。「今できることは何か？」を考えて動いてみてください。

■ 3年生対象個人面談（3年生全員対象）を実施中 2016/9/20～2016/10/21

1人15分程度の面談です。卒業後の進路や就職活動に向けて必要なことを説明します。

■ 就職ガイダンスを実施

開催日はメール・学内掲示板等でお知らせします。「業界研究セミナー」「自己分析・エントリーシートの書き方」「SPI模擬試験」などを随時開催します。

※その他、年間を通して様々なプログラムを実施予定です。

【4年生のみなさんへ】

＜現在、就職活動中の方＞
求人検索ナビ閲覧、履歴書添削・進路相談など、キャリアセンターでは随時対応しています。これまでの活動を振り返る機会としてもキャリアセンターを利用しましょう。

＜内定をもらった方＞
内定報告書を提出してください。（書類はキャリアセンターにあります）

【1・2年生のみなさんへ】

『キャリアデザインⅠ』『キャリアデザインⅡ』を可能な限り履修しましょう。これまでの振り返り、自己分析、卒業生講話などを通して、卒業後イメージした目標設定ができる授業です。また、コンペやプロジェクトへの参加、アルバイトやボランティア等の課外活動など、学外にも目を向けて色々なことに挑戦する時期にしてみるのも良いでしょう。経験を増やし、視野を広げることで卒業後の進路を考えるきっかけにもなるかもしれません。色々なことにチャレンジしてみてください。

卒業生の声



立ち上げから任され、トータルプロデュースを手掛けるブランド「Borely（ボレリー）」の寝具。 同学科卒業の後輩デザイナー、松本理沙子さん（左）と北井沙希さん（右）。

デザイン感覚と人間工学的視点を 持ち合わせたデザイナーをめざして。

西川リビング株式会社／プロダクトデザイナー
プロダクトデザイン学科（現：プロダクト・インテリアデザイン学科）2011年卒業
北井 沙希

私の所属する部署は、一人の担当者が一つの商品シリーズを丸ごと担当します。商品のテキスタイルデザインはもちろん、ロゴやパッケージ、売り場提案や販促企画まですべてをプロデュースします。私も入社2年目に、「ボレリー」というブランドの立ち上げを任せられ、試行錯誤を重ねながらブランドとともに成長してきました。ブランド名の由来は、「一目惚れ」。一目見て気に入ってもらえる商品をめざしています。大学時代は、産学連携プロジェクトなど機会があれば積極的に参加していました。中でも「Design Soil」での経験は、自分の成長に大きな影響を与えてくれたと思います。授業とは一味違う、ストイックな空気の中で与えられるのではなく、自分たちで全てを作り上げていく・・・そういう経験が、今の仕事にも生かされていると感じます。色や柄など、感性に訴えかけるデザイン感覚と、使い心地や快適性といった人間工学的な視点。その両方をバランスよく持ち合せた、説得力のあるデザイナーをめざしています。

内定者の声

しっかりしたスケジュール管理で成功！

カシオ計算機株式会社 内定
プロダクトデザイン学科 インダストリアルデザインコース 4年
山本 大嗣

3年生の10月頃からポートフォリオの準備を進め、11月下旬からインターンシップへの応募を始め、参加させてもらったインターンシップ先の選考を受け、4月頃に内々定をいただきました。カシオ計算機(株)を選んだのは、電子機器メーカーとして歴史ある企業でありながらも、常に新しい価値を探索する企業風土に惹かれたからです。就活期間を通じて大変だと感じたことは、スケジュール管理です。特に、工業デザイン系のインターンシップの募集は短期間に偏っているため、より多くの企業に応募するために「いつ」「何を」「どう準備するか」を計画的に考える必要があり、スケジュールの調整に苦労しました。履歴書などに関しては、早い段階で志望理由や自己PRの添削をキャリアセンターで受けられたことは、スムーズに就活を進めるうえで大変役に立ったと感じています。実際には、何が決め手だったのかは分かりませんが、自分という人間がどういう人間か、拙くともしっかりと説明できるように準備したことと、自

分の作品に自信を持ってプレゼンできる力は、就活で役立てることができたのではないかと思います。また、キャリアセンターが実施するポートフォリオ講座を、3年の後期に受けました。そこで、ポートフォリオが企業目線でどういう位置付けなのかや、制作の方法を知ること、自身が希望する分野への応用ができました。入社後は、積極的に製品製作に携わり、プロのデザイナーとしての力を磨きたいです。将来的には、自分のデザインしたものが社会に流通し、皆さんに喜びを与えられたなら最高です。これから就活をはじめる後輩のみなさんにはぜひ、自分の作品をいろいろな人に見てもらって、良かったところ、面白かったところを聞くようにしてほしいです。自分ではなかなか自分の価値に気付けないからです。そうして得た客観的な意見が、自分の長所や自信の根源をはっきりさせてくれると思います。

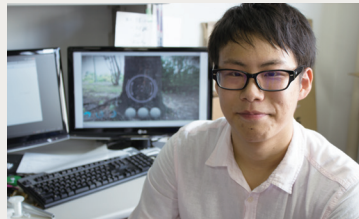


周りに負けない強みを持てた事が内定の決め手！

株式会社オムニバス・ジャパン 内定
映像表現学科 CGコース 4年
三井 涼平

2016年4月に就職活動をはじめ、3ヶ月後の7月には株式会社オムニバス・ジャパンから内定をいただくことができました。この会社を志望したのは、将来的に映画やCMなど、多種多様なジャンルに携われることが魅力だったためです。試験や面接の会場がすべて東京だったので、費用の負担が大きかったのですが、交通費の面でも学割を利用するなど工夫をしました。試験では、ポートフォリオの出来が重要だと実感。しっかりと自分をアピールできるポートフォリオを用意することを心掛けました。その他にも、周りに負けないスキルと人前で話せる材料が多くあったことも、内定の決め

手となったのではないかと感じています。日頃から面接で話せる学生時代の経験談、取り組みなどについて考えておくことが重要だと思いました。入社後はまず、プロとして必要な技術・スキルをしっかりと身に付け、ゆくゆくは映画、CM、TV番組などで活躍できるように頑張りたいです。これから就職活動をはじめる後輩たちには、周りに負けない強みを持つことが1番大切だということ、自分のことをしっかりとダメ出しをしてくれる仲間、互いに切磋琢磨できる仲間を作ることが大切だと伝えたいです。



じっくり企業研究に取り組んだことがポイント！

株式会社千趣会 内定
ファッションデザイン学科 ファッション企画コース 4年
大森 なつみ

3月中旬から就活をはじめ、6月下旬に内定をいただきました。アパレル業界で商品企画やデザインをしたいと考えていたなかで、同社の求人を見つけてきました。自分に合った募集内容だったことはもちろん、会社名、ブランドの知名度も高く、福利厚生的一面でも安心して働ける会社だと思ったことが志望理由です。就職活動の準備でやっていて良かったことは、企画やデザイナー職を募集しているアパレル企業を多く研究し、会社説明会にも積極的に参加したこと。それらができていたことで、それぞれの企業の特徴や魅力を比較でき、将来自分のやりたいことを明確化することがで

きました。また、履歴書やエントリーシートを作成する際も、動機をしっかりと書くことができました。企業研究を念入りに行ったことで、入社後どのように働き、どのような商品を提案したいかをしっかりと答えることができたことが内定に繋がったと感じています。さらに、この会社で頑張りたいという熱意を強く伝えられたことも良かったと思います。入社後は、ヒット商品を企画できるように頑張っていきたいです。後輩たちには、就活をはじめる前からさまざまな企業を研究し、将来どんな仕事をしたいかを明確化することが大切だということを伝えたいです。そして、スタートと同時に説明会などに積極的に参加をする、納得のいく進路選択ができると思います。



2016年10月		
1	土	7月18日(月・祝)の振替休日
2	日	教育懇談会(本学会場)
3	月	学生時間割表配布、履修登録訂正受付開始
5	水	履修登録訂正受付締切
7	金	後期(第1回)学費延納手続期限
10	月	月曜の通常授業日/体育の日
14	金	9月19日(月・祝)の振替休日、芸工祭準備日
15	土	9月22日(木・祝)の振替休日、芸工祭、オープンキャンパス
16	日	芸工祭、オープンキャンパス
17	月	10月10日(月・祝)の振替休日、芸工祭片付日
20	木	後期(第1回)学費納入日
21	金	クリーンキャンペーン
2016年11月		
3	木	文化の日
4	金	履修中止制度申出期間開始
5	土	11月23日(水・祝)の振替休日
7	月	履修中止制度申出締切
23	水	水曜の通常授業日/勤労感謝の日
25	金	クリーンキャンペーン
2016年12月		
3	土	芸愛祭
17	土	KDU 見学会
26	月	冬期休業開始
2017年1月		
5	木	後期授業再開
7	土	後期(第2回)学費延納手続期限
13	金	クリーンキャンペーン
17	火	補講日
18	水	補講日
19	木	補講日

20	金	補講日、後期(第2回)学費納入日
24	火	土曜日の授業
25	水	補講日
26	木	補講日
27	金	後期末試験日
28	土	後期末試験日
30	月	後期末試験日
31	火	後期末試験日
2017年2月		
4	土	KDU 見学会
7	火	卒展梱包日
8	水	卒展搬入日
9	木	卒展設営日
10	金	卒展
11	土	卒展
12	日	卒展
14	火	卒展搬出日
15	水	学園創立記念日
20	月	成績発表、再試験受付開始、 成績評価確認制度申出期間開始
22	水	再試験受付終了
23	木	再試験
24	金	再試験
25	土	再試験
2017年3月		
5	日	オープンキャンパス
9	木	卒業認定者発表(掲示)
10	金	奨学融資制度申込締切
18	土	卒業式

※大学祭・入学試験日等により事務取扱いをしない場合、また冬期休業等、窓口の受付時間が変更になる場合は、事前に連絡いたします。
(学内掲示板・大学公式ホームページ等)

アンケートにご協力ください

より充実した誌面作りのために、保護者のみなさまからのご意見・ご感想をお聞きするアンケートを実施しています。ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。
なお、アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で10名の方に「図書カード(1000円分)」を進呈いたします。当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケート回答用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお送りください。

FAX: 078-794-5027

締切は
10月31(月)まで

※ご記入いただきました個人情報安全かつ適切な管理を行い、標記の目的以外に使用いたしません。

+ + 神戸芸術工科大学
+ + KOBE DESIGN UNIVERSITY

Vol. 28-1 No. 82 2016.9

編集/発行 神戸芸術工科大学 学生生活・国際交流課

〒651-2196 神戸市西区学園西町 8-1-1

TEL: 078-794-5024

FAX: 078-794-5027

HP: <http://www.kobe-du.ac.jp>

E-mail: kdu-i@kobe-du.ac.jp